

令和4年度第1回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和4年8月3日（水）午前10時から午前11時30分まで

場 所 日進市役所南庁舎2階第5会議室

出 席 者 齊藤由里恵、金澤敦史、倉知英治、志水佳三、小芦圭吾、三隅晋吾、上田信子、
黒田忠晃（敬称略）

欠 席 者 堀口 裕（敬称略）

事 務 局 萩野一志（総合政策部長）、岩瀬雅哉（同部調整監）、小出誠二（同部次長兼企
画政策課長）、白木 誠（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、
石川達也（同課同係主査）

説明のために なし

出席したもの

傍聴の可否 可

傍聴の有無 5人

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 諮問
- 4 議題（1）第3次日進市経営改革プランの進捗管理について
（2）外部評価の見直しについて
- 5 閉会

配 付 資 料

資料1 第3次日進市経営改革プラン達成指標一覧表

資料2 第3次日進市経営改革プラン推進シート（取組項目別）

資料3 公民連携ガイドラインについて

資料4 ガイドライン骨子

資料5 外部評価の見直し

発 言 者	内 容
事 務 局	1 開会
	2 市長あいさつ
	委員自己紹介 事務局自己紹介 会長及び職務代理者の選出
	3 諮問
	1 第3次日進市経営改革プランの進捗管理について 2 外部評価の見直しについて
	4 議題
会 長	議題（1）第3次経営改革プランの進捗管理について、事務局から説明をお願いします。

発 言 者	内 容
事 務 局	(資料1、2、3、4に基づき説明)
会 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見はございませんか。
委 員	議題(1)は経営改革プランの進捗管理についてですが、その中で20番目の公民連携を取り上げたのはこの重要度が高いということですか。
事 務 局	企画政策課で進めている事業であること、公民連携ガイドラインを策定することで、全庁的に公民連携が進むであろうということで重要だと認識しています。
委 員	ガイドライン骨子で、4.連携の基本的な考え方、8.推進体制が重要だと思います。推進体制のプラットフォームの主体はどこですか、4者対等なのですか。
事 務 局	運用は具体的に決定していません。これからの行政サービスは行政主導で事業展開するのではなく、民間企業や大学へお願いしたり、金融機関の企業支援の力をお借りしたりするなど、行政がステークホルダーをつなぐことでプラットフォームを運用していきたいと考えています。
委 員	行政の守備範囲を明確にすると良いと思います。
会 長	他にありますか。
委 員	骨子なので分かりにくい部分があるのは仕方ないですが、ガイドラインを作って庁内や企業に示し、事業の案が出てきてマッチングさせていくという、作成の意図、市のサービスや事業を行うことが民間にもメリットがあるという部分、プラットフォームに関係者が記してあるがお互いの関係性が分かりにくいです。
事 務 局	骨子なので詳細は詰め切れていませんので、いただいたご意見も踏まえ、民間企業にもわかりやすい案を作成します。
会 長	他にありますか。
委 員	市の事業は市民に提供されるし、市民には市民の視点や役割があるので、プラットフォームの図にも市民を記すことができないでしょうか。
事 務 局	どのように表現するといいかを検討します。行政課題の解決だけでなく、民間事業者の課題も解決できるような関係性にしたいこと、そこを行政がどのようにつなぐのかなど、分かりやすい表現を検討します。
会 長	この公民連携には、市民団体、NPO、自治会などは入らないですか、どこまでを想定していますか。人口減少時代には市民団体などは行政の事業の受け皿になるし、「公民私」という言葉もあります。今回のガイドラインはどこまでなのかをはっきりさせれば良いと思います。
会 長	他にありますか。
委 員	資料に今までの実績例が記載してありますが、公民連携の基本的な考えは、民間でできることは民間に任せていくということでしょうか。
事 務 局	実績は連携協定を締結して実施したものを記載しています。ガイドラインでは連携協定に限らずいろいろな連携の形を想定しています。
会 長	市は、実績にとらわれない新しいものを求めていると思います。そのためにガイドラインとして分かりにくくなってしまうのかもしれませんが、委員のみなさ

発 言 者	内 容
	んのご意見を参考にできるだけ分かりやすい案を策定してください。実績例は日進市だけでなく他団体の例を記載してもよいと思います。
会 長	議題（２）外部評価の見直しについて、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	（資料５に基づき説明）
会 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見はございませんか。
委 員	事務事業の内部評価の仕組みはありますか。今までの外部評価は市で事務事業を選定して外部の委員で評価していました。それについて今回は対象を見直したいのか、手法を見直したいのかという点が今回の議題ですか。
事 務 局	内部で評価する仕組みがあり、それだけでなく外部でも評価していただいています。しかし、全ての事務事業を外部評価することは難しいので、一つを選定して評価していただいています。限られた委員会の回数の中でより効果的に評価していただける選定方法はないかということです。現在は 100 万円以上であるなどの条件で選定していますが、外部評価開始から年月が経ち、過去に対象とした事業が多くなり選定しにくくなっているのが実情です。
委 員	事務事業型とテーマ型の違いは何ですか。各課で事業を選定すると評価が良くなる事業を選定してしまうと思うので、選定の方法はよく考えないといけないと思います。
事 務 局	事務事業型が一番小さな単位の事務や事業を対象として評価するものです。テーマ型は一つのテーマに関連して複数の事業が対象となり全体を評価するものとしていましたが、うまく機能しなかったので休止しています。対象事業の選定は事業をより良くするために選定すべきで、例えば附属機関などが無く、外部の視点を取り入れられていない事業や、少額の事業を対象とするなどとしていきたいと考えています。
委 員	テーマ型に関しては、事業に横串が刺せていないのでうまくいかなかったのではないのでしょうか。例えばSDGs と言いながらも横串がないとやりにくいと思います。
事 務 局	市の中事業にはSDGs のゴールはすべて紐付けてあるので、そこから追うことはできると思います。
会 長	他にありますか。
委 員	市民からの要望や意見は対応されていると思うが、そういった視点を取り入れることはできますか。
事 務 局	市民からの要望や意見はすぐに対応できるものとそうでないものもあります。要望などのデータの蓄積はあるので参考にできますし、市民意識調査の調査結果も参考になると思います。ただし、全体ニーズを満たしているかが重要だと思います。
委 員	毎年事務局が事業選定して外部評価してきました。今までは比較的大きな事業を評価していましたので、小さな事業に着眼するのも良いと思います。

発 言 者	内 容
会 長	市民意識調査を活用するのは一つの方法として良いと思います。他団体では事務局で事業リストを作成し、その中から評価委員が選定する事例もあります。注目度や関心度から選定する以外に、市としてどうしても評価してほしい事業を選定するのも重要です。選定方法はいくつもありますが、市民への説明責任もあるので、ある程度は注目を持てることが大切だと思います。
会 長	他にありますか。
委 員	市として評価してほしい事業は取り上げたほうが良いが、それだけでなく市民意識調査に基づいたり、乱暴だがランダムに選定したりしてもよいと思います。
会 長	行政は事業を始めるとなかなか止めることができないので、廃止したい事業があればそういった事業を選定する方法もあると思います。
会 長	他にありますか。
委 員	評価の目的は良い点数を得ることではないと思います。また、関心度の高い事業が優先度も高いとは限らないので注意が必要だと思います。
会 長	関心度と優先度は違うので、いくつかの軸を設けてシステムチックにできると良いと思います。
会 長	他に何かありますか。 全体を通してでも構いません。
委 員	見直しスケジュールの第1回が今日ということによろしいですか。
事 務 局	そのとおりです。
委 員	課題の整理という部分では、本日は選定方法に収れんし、1回目のスケジュール感は達成できたと思います。課題の3は外部評価の後の話で外部評価の手法ではないので、選定方法が重要だと思います。
会 長	新しい手法の確立に向けて、必要な考え方や盛り込む要素について、委員の皆さまから提案やご意見をいただくことができました。今回いただいた提案やご意見を踏まえて、事務局で一度案を作成していただき、次回の委員会までに各委員に提供してください。 また、委員の皆様は、資料の請求やご意見などがあれば、この後も事務局へお願いします。
	5 閉会